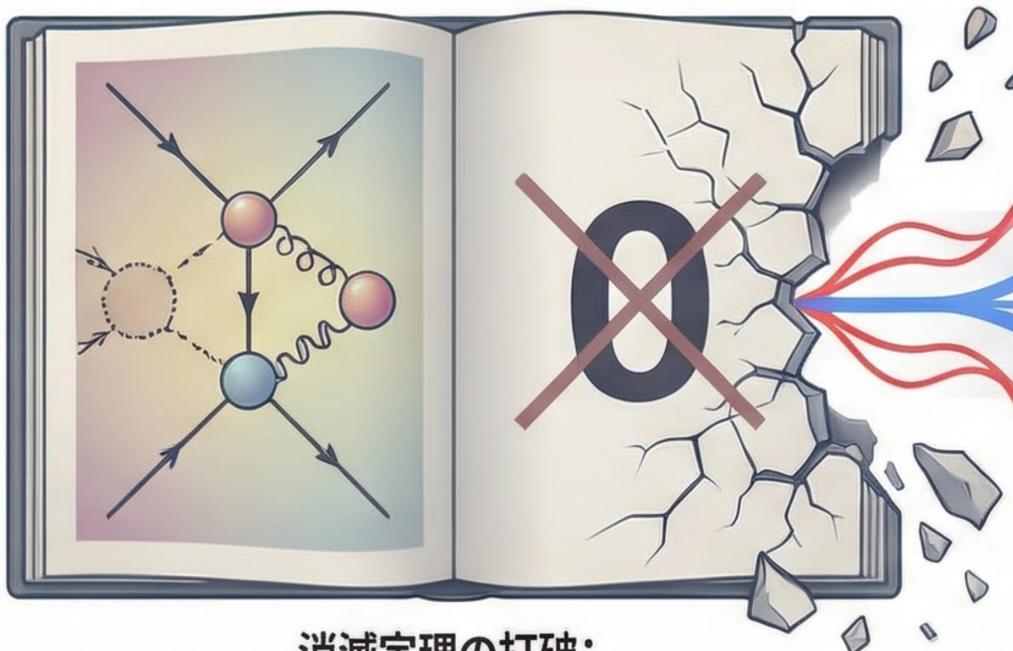


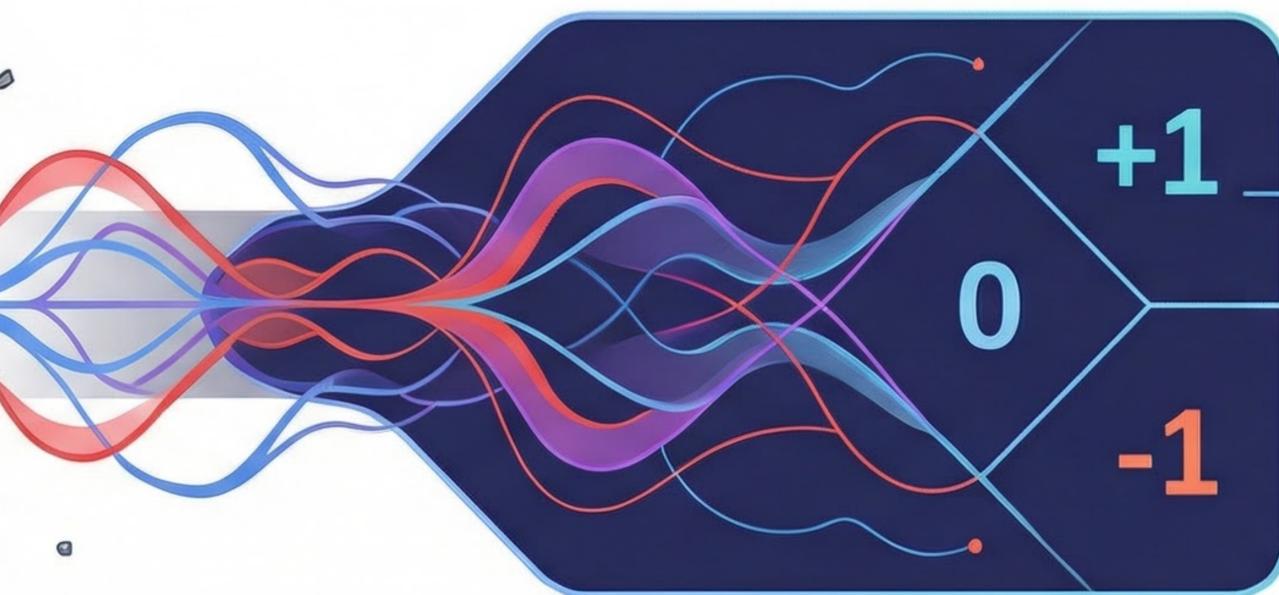
# 物理学の定説を覆す：GPT-5.2による「グルーオン散乱振幅」の発見

従来の定説 (1986年～)：  
シングルマイナス振幅は常にゼロ



消滅定理の打破：  
教科書でゼロとされたシングルマイナス振幅が、  
特定の領域で非ゼロであることを証明。

半コリニア領域 (新発見)：  
シングルマイナス振幅が非ゼロ



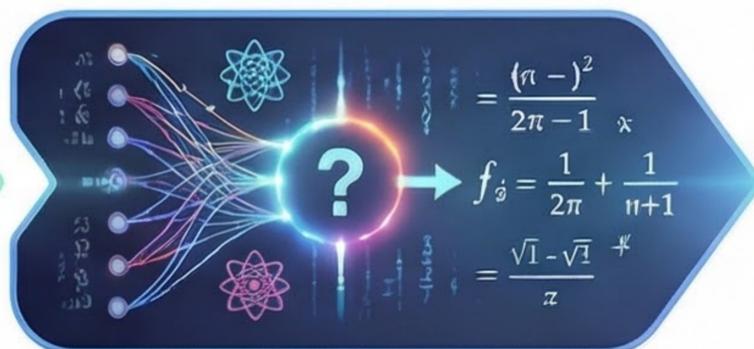
整数値 (+1, 0, -1)  
の区分定数構造  
各区面で整数値のみを  
取るという極めて特異で  
根深な機軸。

「半コリニア領域」という抜け穴の発見：  
従来の講論が想定していなかった特異な運動量空間の領域を特定。

## AIによる科学的発見：ツールから「パートナー」へ



1. 人間の計算を起点  
人間の計算を起点に、GPT-5.2が式の簡約化、一般公式の予想、形式的証明を完遂。



2. 式の簡約化 & 一般公式の予想  
GPT-5.2が数式の簡約化と一般公式の予想を自律的に行い、証明を完遂。



3. 12時間の自律的推論による形式的証明  
スクャフォールド版GPT-5.2が、人間が15年間解決できなかった疑問を自律的に証明。



4. 科学研究の核心 (パターン発見と演繹) をAIが担当：単なるデータ解析を超え、AIが偽説生成と厳密な数学的証明を担う新パラダイム。